

平成 29 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社フライトホールディングス
代表者の役職 代表取締役社長 片 山 圭一朗
(コード番号:3753 東証第二部)
問 い 合 せ 先 代表取締役副社長 松 本 隆 男
金(こん) 浩 樹
電 話 番 号 03-3440-6100 (代)

Incredist Premiumが中国銀聯のコンタクトレスEMVに関する ブランド認定を取得

～MasterCard, Visa, American Express取得に続き2020年に向けた訪日旅行者対応を加速～

子会社の株式会社フライトシステムコンサルティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 片山圭一朗、以下当社)は、当社のタブレット向けマルチ決済装置「Incredist Premium」が中国銀聯のコンタクトレス EMV(*1)「Quick Pass」のブランド認定を取得したことをお知らせいたします。

当社は、国内のスマートフォン決済先駆者として、2010年9月より国内初のiPhone(*2)やiPadをクレジットカード決済端末にする大企業向けソリューション「ペイメント・マイスター」を販売しております。すでに高級ホテル施設での決済、レストランのテーブルチェックや観光タクシーでの決済、並びに旅行代理店等、幅広い業種に導入いただいております。また2016年3月には、磁気クレジットカード、接触型ICによるクレジットカード(EMV)、日本の電子マネーという3種類の決済に加え、新たにコンタクトレス EMV に対応した最新鋭のマルチ決済装置「Incredist Premium (インクレディスト・プレミアム)」を発売開始しております。

(公式サイト: <http://www.incredist.com/>)



この度当社では、Incredist Premium においてすでに取得済みの5ブランド(MasterCard Contactless, Visa payWave, AmericanExpress ExpressPay, JCB J/Speedy, Discover D-PAS)に加え、新たに中国銀聯 Quick Pass のブランド認定の取得が完了しました。Quick Pass は2012年のリリース以来、急成長を続け2015年9月末で16億枚以上発行されています。日本国内のApple Payでは日本の電子マネーであるNTTドコモの「iD」等が活用されている一方で、欧米や中国ではコンタクトレス EMV が使われており、Quick Pass は中国 Apple Pay で採用されています。

Quick Pass 認定の取得により、当社 Incredist Premium ではコンタクトレス EMV 国際6ブランドの取得が全て完了しました。今後は2020年の東京オリンピックへ向けた訪日旅行者の利便性を視野に入

れ、海外のみならず国内の決済センターでコンタクトレス EMV による接続を積極的に推進し、国内外での Incredist Premium の拡販を目指していきます。

< Incredist Premium の主な特徴 >



*1 MasterCard Contactless, Visa payWave, AmericanExpress ExpressPay, JCB J/Speedy, 中国銀聯 QuickPass, Discover D-PAS : IC カード国際規格「EMV」技術を用いた非接触 IC 決済対応のクレジットカードで、カードをかざすのみで決済完了が可能になります。新たに Apple Pay もこの方式を採用したことから、非接触型 IC によるクレジットカード決済が世界中で爆発的な広がりを見せています。

*2 iPhone、iPad、Apple Pay は、Apple Inc. の商標です。

以上